

# 技術に翔る

## 列車の安全運行確保し斜面对策

北陸地方整備局立山砂防事務所から受注したH31樺平他斜面对策工事で、2019年度完成優良工事局長表彰を受賞した。監理技術者として携わった自身も優良建設技術者（事務所長表彰）の榮譽に輝き「日々、現場で行ってきた取り組みが評価につながり非常に光栄に思っています」と謝意を表す。同工事では下請負者表彰（事務所長表彰）に清和テック、下請負者の専任技術者表彰（事務所長表彰）に同社の三浦正和氏も選定された。

ダイチ工事部工事第一課課長補佐

### 松浦 薫氏



常願寺川上流域の砂防工事で使用している砂防専用軌道の安全運行のために落石や斜面崩壊を防ぐための斜面对策工事を施工した。

沿線の狭あい地点在した個所での斜面对策工事のため、

たが、希少機械の早期確保や

「各個所で列車通過時の安全運行の確保が必須だった」と振り返る。そこで、施工個所の上下流に列車見張員を配置したほか、列車の通過を感知するセンサーと警報機が連動した監視対策を実施。「斜面上部の作業員は列車が通過する間の作業の中断を確実に、軌道の安全運行を確保した」と話す。

また、軌道による資機材の運搬では軌道の建築限界や軌道台車の積載重量制限があったが、希少機械の早期確保や

モルタル骨材を大型土嚢（どのう）に詰めて搬入、集積するなどの工夫を行い「品質・工程面で適切な施工ができた」と成果を語る。

選定理由では「対策工法特有の事象に積極的な工夫・提案を持って無事故で適切な施工・品質・工程管理のもと良好に工事を完成させた」とたたえている。

「斜面对策工事は厳しい現場が多いが、今後も『安全』を最優先にこれまでの経験と創意工夫により、目的物の良好な品質・出来形の確保に努めていきたい」と決意を新たにす。